



急な病気やケガで



すぐに
救急車？



夜間だけど
病院？



©わんこきょうだい

迷ったら電話で相談

シャープ

#

なな

7

いち

1

いち

1

きゅう

9

ダイヤル回線・IP電話は **019-656-1774** ※県内全域で利用可。いずれも通話料がかかります。

岩手県救急安心センターの開設に伴い、**看護師等が相談に対応します**
いわて発熱等相談センターを廃止します。

24時間・365日

令和7年**4/1**のから

15歳未満のお子様の
急な病気やケガで困ったら

小児救急
医療相談

#8000



緊急時は迷わず119番へ



❖ 岩手県

令和7年4月1日(0時)から救急医療の電話相談窓口を開設します。
それに伴い、いわて発熱等相談センターは令和7年3月31日を以て廃止いたします。



岩手県救急安心センター



®わんこきょうだい

シャープ なな いち いち きゅー
7 1 1 9

24時間 365日 対応

ダイヤル回線・IP電話は
019-656-1774

※県内全域で利用可。いずれも通話料がかかります。

#に続いて7119を押してください

相談内容

- ・救急電話相談、小児救急医療相談
- ・新型コロナウイルス感染症に関する相談
(これまでの発熱等相談にも対応)

緊急時は
迷わず
119番へ

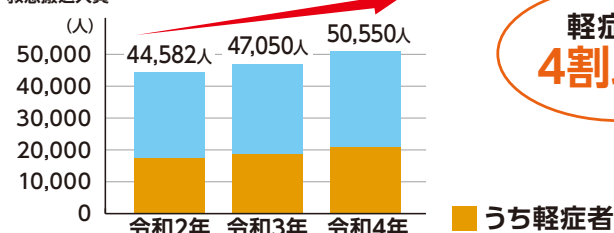
相談できないもの

- ・服薬、治療方針、介護相談、健康相談、育児相談、
セカンドオピニオンなど

救急搬送人員に占める軽症者数の割合(令和4年)

■ 軽症者数: 21,285人 (42.1%)

救急搬送人員



(出典: 令和4年版消防庁救急救助の現況及び令和4年県防災消防年報)

軽症者が
4割以上

令和4年
救急搬送人員
50,550人

本県の救急車による搬送人数は年々増加しており、令和4年には5万人を超え、軽症割合が4割以上となっています。緊急性が高いときには救急車の要請を、そうでないときは症状等に応じたタイミングで医療機関を受診することで、緊急性の高い方へいち早く医療が行き届くようになります。



15歳未満のお子様の急な病気やケガで困ったら

小児救急医療相談

**365日
対応**

8 0 0 0

ダイヤル回線・IP電話は
019-605-9000

電話対応時間

午後7時から
翌朝午前8時まで

相談する医療機関に迷う場合や
「かかりつけ医」がない場合のご相談は

県民医療相談センター 019-629-9620

平日・日中 (9時~12時、13時~16時)